

甲府女声「和の会」
創立50周年記念コンサート

わとわとわ
と
人
永遠
vol.2

50th
Anniversary

2022年

12月11日(日)

14:00 開演 (13:30 開場)

甲府市総合市民会館 芸術ホール

入場無料

※要整理券
当日受付でも扱っております

指揮：依田 浩

ピアノ：田中 美緒

出演：甲府女声「和の会」

ゲスト：混声合唱団「權」(ピアノ：宮川真理菜)

アンサンブル・カーノ

主催：甲府女声「和の会」

後援：甲府市教育委員会／甲府市文化協会／

山梨日日新聞社・山梨放送／テレビ山梨／

日本ネットワークサービス／

JCDI 日本合唱指揮者協会／

21世紀の合唱を考える会 合唱人集団「音楽樹」

問い合わせ先 西川：yayo326@icloud.com tel.090-4737-6689

和出：yoko.wade1118@gmail.com tel.090-9365-6517

甲府女声「和の会」

50th Anniversary

甲府女声「和の会」は、甲府市教育委員会の第一回「女性コーラス」として発足。その後自主グループとして独立し、活動を続け、今年で50年になります。常任指揮者には1972年から大庭三郎先生、1996年から近藤幹雄先生、1998年から依田浩先生をお迎えして現在に至ります。

甲府市文化祭、山梨県合唱祭、おかあさんコーラス大会のほか、県内外や海外の大会に参加してきました。特におかあさんコーラス大会には第一回目から昨年度まで参加し、関東大会や全国大会にも度々出場しました。節目ごとに記念演奏会を開催しており、今回で6回目の記念コンサートとなります。2011年の40周年記念コンサートは甲府市と「きょういくの日コンサート～子どもたちに歌い継ぐ～」と題した演奏会を共催、子どもたちと共演しました。また他団体とのジョイントコンサートもさまざまな形で自主公演してきました。

「和の会」では主に日本の合唱曲を歌い、「和の会」らしい柔らかな声質が生まれました。日本語を美しい響きで旋律に乗せることを、練習のたびに依田先生からご指導をいただき、その難しさに苦闘しつつ完成していく喜びを味わっています。また、高齢化やコロナ禍で練習する機会が減少する中でも、衰えを克服している喜びも感じています。創立50周年を迎えた私たち甲府女声「和の会」は、たくさんの課題を抱えながらも前進していこうとこれからも歌い続けます。



指揮

依田 浩

山梨県生まれ。国立音楽大学教育音楽学科第Ⅰ類卒業。子どもから大人まで、多くの合唱団を指揮・指導。ピアニストとしても様々な奏者、歌手と共演する。オーケストラと合唱との共演、オペラの講演など〈歌〉〈合唱〉との協働が多く、幅広い指導力から地域の教育現場などからも講師として招かれている。JCDA日本合唱指揮者協会会員。山梨県芸術文化協会会員。21世紀の合唱を考える会 合唱人集団「音楽樹」メンバー。一般社団法人「おと・うた・ひと山梨」代表理事。

ゲスト

合唱 混声合唱団「權」

1986年に5名の仲間で作成されました。「權」とは、船を漕ぐ道具のこと。依田浩先生のご指導のもと皆で少しずつ漕ぎ出して行こう、という願いを込めて名付けたものです。船出から36年、会場の皆様とともに楽しめるコンサートをほぼ2年ごとに開催してきました。18回目を迎える来年3月21日YCC県民文化ホールでのコンサートを予定しています。仲間と一緒に歌い続けられる幸せに感謝しながら、これからも歌い続けていきます。

合唱 アンサンブル・カーノ (Ensemble Cano)

1989年(平成元年)、有志が集まって結成。当初は演奏会の度に結成・解散するシステムでしたが、1994年からフルタイム活動に移行。以来、シアターピースを含む、歌うことだけに留まらない多様な表現活動を重ねてきました。レパートリーは、ルネサンス宗教曲から近現代作品まで多岐にわたります。コロナ禍においてもリモート練習など試行錯誤しながら楽しみを見つけ、大学生から〇〇代(?)まで、年齢も職業も住むところも様々なメンバーが集い、歌っています。近年は、はくばく文化ホール(富士川町)において不定期にロビーコンサートを開催。一緒に歌う仲間をいつでもお待ちしております!

*Cano: 歌う、美しく調和して囁き響く。(ラテン語)

ピアノ



田中 美緒

国立音楽大学ピアノ科卒業。在学中学内定期演奏会出演。また、ダン・タイ・ソン氏の特別レッスンを受ける。第47回山梨県芸術祭優秀受賞。第10回コンセールヴィヴァン新人オーディション合格。透明感のある澄んだ音色とダイナミックでありながらも繊細で豊かな表現力が高い評価を得ている。第19回おかあさんカンタート in山梨、山梨県民第九、山梨県民オペラ、甲府市きょういくの日コンサート、八ヶ岳音楽祭にて合唱ピアニストを務める。"心に響く音楽を"をモットーに、現在ソロ活動、声楽、室内楽のアンサンブルピアニストとしても多数の演奏会に出演し活躍中。和の会とは約20年を共に歩む。

ピアノ



宮川 真理菜

甲府市出身。国立音楽大学附属高等学校を経て、国立音楽大学演奏学科ピアノ専攻卒業、並びにピアノ指導コース修了。同大学卒業演奏会に出演。第10回日本演奏家コンクール特別賞受賞、第5回東京ピアノコンクール大学部門第2位。ピアノを星ちえ子、後藤智美、伊勢淑子、今野信子、草野明子の各氏に師事。現在は自宅でピアノ講師として後進の指導にあたりながら、ソロの他、合唱等の伴奏ピアニストとしても幅広く活躍を行っている。